

# けものフレンズR 小話

名称（仮）

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

このお話は、けものフレンズの二次創作である、けものフレンズRを題材とした三次創作です。

祝詞兄貴様の生み出した素敵な宝物↓<http://seiga.nicovideo.jp/seiga/im9098445>

私なりのけものフレンズRを書きたいと思いました。

もし、皆様の素敵なかものフレンズがありましたら、お教え頂ければ幸いです。

色々な小話を書けたらいいなあ。

あまり大きな声で言えないのですが、自分は詳しくけものフレンズを知らないのです。

それでも、優しい世界が傷つくのは嫌なので書きました。

少し上から目線な言い方になってしまいますが、『この子はこういう子なんだよ』『この場所はこんなに素敵な所なんだよ』というのが御座いましたら、是非お教えください。

幸せで優しい世界がもつと広がれ。

目次

## お花見

「おはなみ？　ですか？」

「そう！　あたしと、イエイヌちゃんと、それにロードランナーちゃん  
でしょー？」

それでそれで、他にも皆も呼んでさー！」

どうかな!?　と私に聞いてくるともえさん。

ヒトであるともえさんと何か出来るなら、私としても反対する事は  
ありません！

ですが、おはなみ？　って何なんでしょう？

私は聞いてみる事にしました！

「おはなみ、　ってなんなんでしょうか？」

「あつ、ヒトのやる事だもんね。　いきなり言われてもはてな？　だよ  
ね！」

ごめんねー!?　　と言いながら私をわしやわしやと撫でてくれると  
もえさん。　……わふう。

そのままされるがままで、わはー！　と私はうれしくなっちゃいま  
した！

ともえさんもなんだか、毛づくろいをした後のようにきらきらして  
みえます！

……はっ!?

「それで、おはなみって……?」

「あつ！　忘れてたよー！」

ごめんねー!?　　と言いながらまた私をわしやわしやと、　って、また  
ですかー!?

……わふうい。



「はかせちゃん！じよしゆちゃん！こんにちは！」  
「おじやます！」

こうして、私ともえさんはとしょかんへとやってきました！  
なかへはいつてみると、はかせとじよしゆがおむかえしてくれました！

「む？ともえですか。さあ、はいるのです」  
「なんのようなのかいって見るのです」

はかせたちはともえさんがなにかおはなししようとしているのを見ぬいていたみたいです！  
すごいです！

「えつとね！みんなでお花見しようと思って！」  
「ふむ、おはなみですか。いかがでしょうじよしゆ」  
「それはもちろんかれーは出るのでしょうね」  
「カレー、ってアレの事かな？ だったらだいじょーぶ！ あたしがバッチリ作るよー！」  
「ほほう、いいましたね？ ともえ。あのあじをたのしみにしていますよ」

「ではわれわれもおはなみへむかしましょう、はかせ」  
よくわからないことだらけですけど、ともえさんはりょうり？もどくだいなのですね！  
すごいです！

「ところで、おはなみのばしょはしっかりきめているのでしょうか？」  
「ともえっ！」  
「でなければ、われわれはあてもなくさまようことになります」

「あ……」

はかせたちからばしよを聞かれてこまってしまったともえさん。  
かんがえてなかったのですね……。